記者発表資料

平成 28 年 8 月 23 日

最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会

最上川上流が氾濫した場合の「減災に係る取組方針」を取りまとめます

―第 2 回最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会の開催―

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨等、近年の雨の局地化・集中化・激甚化を踏まえ、ハード対策に加えて「住民目線のソフト対策」を一体的・計画的に推進することを目的として、平成 28 年 5 月 31 日に「最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」を設立しました。

第2回の協議会を、委員である沿川市町の市長・町長にご出席いただき、下記のとおり開催し、水防災意識社会再構築ビジョンに基づく、「最上川上流域の減災に係る取組方針」を取りまとめます。

なお、協議会では伊藤康志氏（宮城県大崎市長）より、昨年 9 月関東・東北豪雨における自らの体験を通じて得た経験や教訓についてご講演をいただきます。また、減災対策の一環となる、「羽越水害から 50 年」を契機とした防災意識啓発のための取組を同日より本格的にスタートし、これに先駆けて羽越水害から 50 年特設 web サイトを同日開設します。

１．日　　時：平成 28 年 8 月 30 日（火）13:30～15:00

２．開催場所：山形県村山総合支庁　本庁舎講堂（2F）
（山形市鉄砲町 2-19-68）

３．出 席 者：村山地方・置賜地方 市長・町長
山形県・山形地方気象台・国土交通省関係者（別添のとおり）

４．内容（予定）
(1) 議事
・「最上川上流域の減災に係る取組方針（案）」について
(2) 講演
『平成 27 年 9 月関東・東北豪雨で活かされた過去の教訓』
宮城県大崎市長　伊藤康志氏

５．公 開 等：(1) 本会議は公開としております。
(2) 報道関係者の席を用意しております。

＜発表記者会＞　山形県政記者クラブ・米沢記者倶楽部

問合せ先

国土交通省

東北地方整備局　山形河川国道事務所
山形市成沢西 4 丁目 3 番 55 号
電話　023-688-8421（代表）
副 所 長（河 川）　水越（みずこし）　崇（たかし）　（内線　204）
調 査 第 一 課 長　小出（こいで）　博（ひろし）　（内線　351）

忘れていませんか。水害への備え　～来年は羽越水害から 50 年～

第2回　最上川上流 大規模氾濫時の減災対策協議会

出 席 者 名 簿

	氏　　名	備　　考
山形市長	佐藤　孝弘	代理：副市長 齋藤　順治
米沢市長	中川　勝	代理：副市長 井戸　將悟
寒河江市長	佐藤　洋樹	代理：危機管理室長 那須　清人
上山市長	横戸　長兵衛	代理：副市長 塚田　哲也
村山市長	志布　隆夫	代理：総務課長 細谷　健一
長井市長	内谷　重治	代理：副市長 遠藤　健司
天童市長	山本　信治	代理：総務部長 武田　淳
東根市長	土田　正剛	代理：消防署長 伊藤　孝次
南陽市長	白岩　孝夫	
山辺町長	遠藤　直幸	
中山町長	佐藤　俊晴	
河北町長	田宮　栄佐美	
西川町長	小川　一博	
朝日町長	鈴木　浩幸	
大江町長	渡邊　兵吾	代理：副町長 鈴木　廣志
高畠町長	寒河江　信	代理：副町長 渡部　富士男
川西町長	原田　俊二	
小国町長	仁科　洋一	代理：副町長 山口　政幸
白鷹町長	佐藤　誠七	
飯豊町長	後藤　幸平	代理：副町長 嶋貫　吉晴
気象庁　山形地方気象台長	安久津　俊幸	
山形県　環境エネルギー部 危機管理・くらし安心局　危機管理課長	井上　宏彦	代理：防災主査 大友　秀紀
山形県　県土整備部 参事（兼）河川課長	高橋　英信	
山形県　村山総合支庁　建設部長	奥山　信也	
山形県　置賜総合支庁　建設部長	羽角　誠	
国土交通省　東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所長	高橋　孝男	
国土交通省　東北地方整備局 山形河川国道事務所長	廣瀬　健二郎	

オブザーバー

宮城県大崎市長	伊藤　康志	
宮城県大崎市副市長	小田原　雄一	

忘れない、水害への備え
～来年は羽越水害から 50 年～

第２回　最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会

日時 ： 平成 28 年 8 月 30(火) 13 時 30 分～15 時 00 分
場所 ： 山形県 村山総合支庁 本庁舎 講堂(2F)
司会 ： 山形河川国道事務所 副所長

次　　第

１．挨拶　　山形河川国道事務所長

２．講　演
平成 27 年 9 月 関東・東北豪雨で活かされた過去の教訓
宮城県大崎市長　伊藤康志氏

３．議　事
（１）幹事会の報告について
（２）「最上川上流の取組方針（案）」について

４．意見交換等

５．閉会　　山形地方気象台長

【配布資料】
資料１　幹事会の報告について
資料２　最上川上流域の減災に係る取組方針（案）
資料３　（説明資料）最上川上流域の減災に係る取組方針（案）
資料４　羽越水害 50 年行事（案）

■「羽越水害50年」特設サイトをオープン

最上川上流域の減災に係る取組方針の一環である、羽越水害から来年で50年を迎えることを契機とした、防災教育や防災知識の普及などの取組を行って行く予定です。

この取り組みの先駆けとしまして、羽越水害の経験・教訓を活かすための記録として約250点の写真と映像などを掲載したwebサイトを作成しました。今後、羽越水害50年行事の取り組み状況等についてもお知らせしていきます。

防災力向上へ向け、皆様と一緒に歴史的水害の出来事を伝承していくことを希望します。

サイト名：羽越水害から50年
ＵＲＬ：http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/uetsu50/

［概要］
・「災害概要」「写真」「動画」「50年行事」「関連イベント」から構成。写真は約250点を掲示。なお、写真は閲覧者による二次利用を前提としております。
・「50年行事」では、全体の実施内容だけでなく、実施状況についても紹介。

QRコード

（参考）サイト トップページ

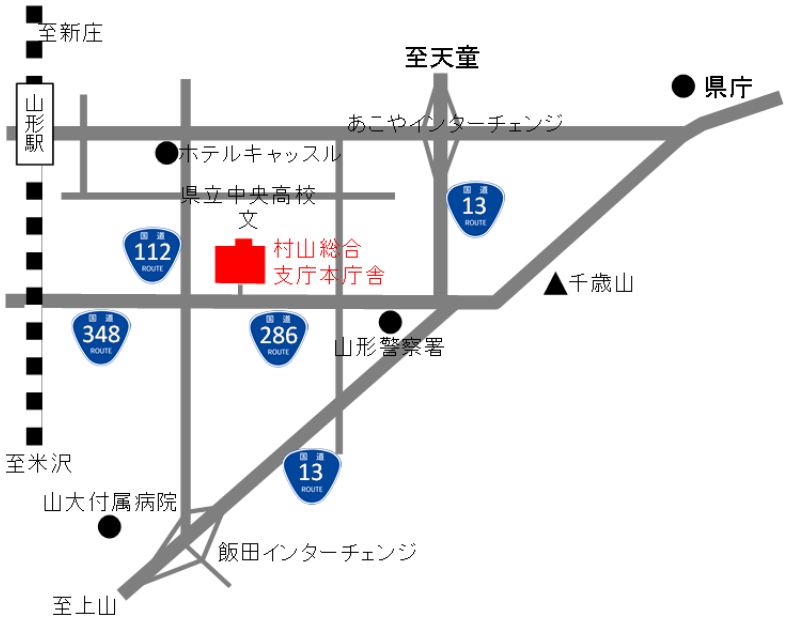


別添地図

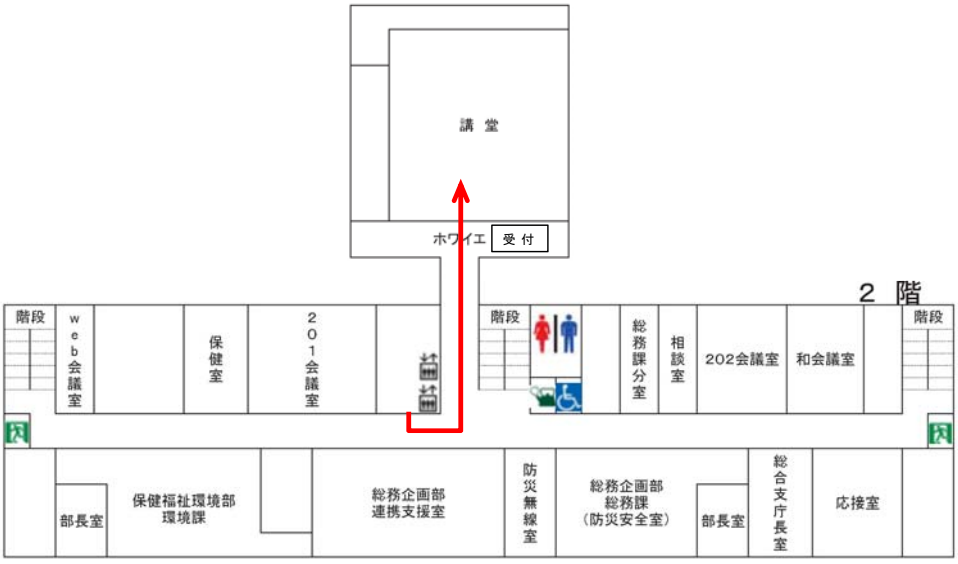
山形県村山総合支庁　本庁舎　講堂（2F）

住所：山形市鉄砲町２－１９－６８

会場に関するお問い合わせ及び当日の連絡先
TEL　０２３－６８８－８９３３（山形河川国道事務所　調査第一課）



山形県村山総合支庁舎　案内図



会場までの経路図